

第 214 号 2006 年 2 月 28 日

家計簿通信

編集・発行／
広島県生活協同組合連合会
くらし・消費者委員会
〒730-0012
広島市中区上八丁堀8番23号
林業ビル4F

TEL082-502-3850 FAX082-502-3860
E-mail: kenren.h@proof.ocn.ne.jp
URL <http://kenren.jccu.coop/hiroshima/>

見えていますか？ 食品の表示

近年、食物によるアレルギー症状を起す人が増えています。なかにはショック症状を起し、対応の遅れから死に至る人もあるようです。厚労省は、2002年4月に食品による健康被害を防止するために、食品衛生法に基づいて特定原材料5品目（卵・乳・小麦・そば・落花生）のアレルギー表示を義務づけました。

表示は、消費者にわかりやすく表記されているでしょうか？また、私たち消費者は、買物をする時、アレルギー表示をはじめ原産地や添加物の表示による情報を十分に活用しているでしょうか？

くらし・消費者委員会では、アレルギー食品の原材料表示について考えてみました。

食物アレルギーは、食品に含まれるたんぱく質などに免疫の働きが過剰に反応して、じんましんなどの皮膚症状や鼻・目粘膜症状、下痢・嘔吐などの消化器症状など身体にとって不利益な症状が起こる疾患です。

アレルギー表示を見るとき注意

表示義務のある5品目が含まれていても、表示されないことがあります。

- ① 店頭で計り売りされる総菜・パンなどその場で包装されるもの
- ② 注文して作るお弁当・レストランなどの飲食店のメニューやお品書き
- ③ 容器包装の面積が30cm²以下の小さなもの

可能性表示の禁止

確実な証拠がないのに、「卵が入っているかもしれません。」「卵が入っている場合があります。」のような「可能性表示」は禁止されています。これは、実際に含まれていないのに含まれているかどうかかわからない表記を許すと、食物アレルギーの方の食べることができるものをいたずらに狭めることになるからです。

※必ず表示される5品目

(特定原材料)



卵 / 乳 / 小麦 / そば / 落花生

※表示が勧められている20品目

(特定原材料に準ずるもの)

あわび / いか / いくら / えび
オレンジ / かぼ / キウイフルーツ / 牛肉
くるみ / さけ / さば / 大豆 / 鶏肉
バナナ / 豚肉 / まつたけ / もも
やまいも / りんご / ゼラチン



アレルギー表示制度の問い合わせは、

◆地域の保健所の食品衛生担当課

<http://idsc.nih.go.jp/hcl/>

アレルギー表示Q & A

◆<http://www.mhlw.go.jp/topics/0103/tp0329-2b.html>

食品の原材料名を意識したのは、6年前です。当時、子どもが卵白アレルギーになっていました。それまで、賞味期限や保存方法くらいしか見ていなかった私ですが、表記を見て卵を使用している商品の多さを実感しました。

今は表示制度も厳しくなりましたが、その必要性が広く知られていないのが現状です。表示が多くなったのは、食品が身体に影響を及ぼしているからということ伝えていかないと、単に「たくさん記されている」で終わってしまう気がします。(T・K)

私は、JASマークと健康保健用食品マーク・賞味(消費)期限 原産地(原産国)名・内容量をみて買っています。有機食品やアレルギー物質を含む食品などの売り場は、もっとわかりやすいように陳列の仕方を工夫してほしいと思います。

(S・T)

委員の 声

私はこれまで、5品目に表示義務があるということすら知りませんでした。製造設備の環境によっては、「使用していない」と表示してあっても多少混入することがあるというのは、その物質がアレルギーになる人にはとても怖いことです。

自然環境の悪化によって、今後は花粉やハウスダスト等によるアレルギーの人も増加していくかもしれません。一人ひとりができることを広めて実行していかねければと思います。大切な地球と未来ある子どもたちのために。

(H・S)

食品の表示ウォッチャーをしました。

因島生協のお店の野菜売り場では、大きなポップに産地が書いてありわかりやすかったです。有機野菜は生産者の顔写真やアピールメッセージまであり、お店の工夫が感じられました。しかし、加工品については表示が小さくてメガネなしでは読めません。

アレルギー体質の人にとってアレルギー表示は命綱です。安心して買い物ができるように、表示の仕方にもっと工夫がほしいと思います。

(Y・S)



コーヒーブレイク

住宅ローン2%で2000万円借りていたら、1年間に払う利息は2000万円×0.02=40万円。1日の支払利息は40万円÷365=1,096円。「1日の食費と同じ?」という声も聞こえてきそうですね。これが3%に上がったら2000万円×0.03=60万円で1日あたり1644円。借入金が1000万円に減れば1日の利息負担額も半減します。繰上げ返済や節約の参考に...

今夜の一品 簡単で温かいスープ

あさり入り白菜スープ (4人分)

《材 料》

白 菜	80g	干しいたけ	中4枚
あさり	160g	コンソメの素	1個
青ねぎ	3~4本	塩・しょうが	少々
水	2カップ		

《作り方》

- ①沸騰したお湯に、きれいに洗ったあさりを入れる。
- ②水で戻し千切りにしたしいたけ、ざく切りにした白菜を加え、コンソメの素を入れて煮る。
- ③仕上げにしょうがの千切りと小口切りにしたねぎを加えて、塩で味を調べて出来上がり。

あさりの代わりにミートボールや豚ばら肉を使うと、ボリュームが出ますよ。

暮らし・消費者委員を募集します

当委員会は月1回の例会で家計簿通信の編集や暮らしにかかわる情報を交換しています。関心のある方、いっしょに活動してみませんか!?

任 期：2006年6月~2007年5月

会 場：広島県生活協同組合連合会

(広島市中区上八丁堀8-23 林業ビル4F)

日 時：毎月上旬。(10:00~13:00)

開催時に次回日程を決めます

交通費：公共の交通機関実費支給

<わしくは 電話082-502-3850 新谷まで

申し込み締め切り：3月31日



かけいぼのこえ



家計簿のおかげ②

「税・社会保険料しらべ」に挑戦しました。正直、面倒でしたが、集計してみると莫大な税金を支払っていることがよくわかりました。このぶん貯金にまわせたらなあ～と思わず考えてしまいます。厚生年金や雇用保険などが無駄遣いされているニュースを耳にすると、どぶに捨てているようなものでは？とむなしい気分です。年間の集計してみると消費支出が去年より18万円減っていました。家計簿モニターの成果かな？と嬉しかったです。

(32歳)

家計簿のおかげ①

ありがたいボーナスが出ました。持っていかれるお金(税金)も多くて腹が立ちますが…。今年は12月から雪も降ってヒーターや布団(子ども2人と寝るためダブルを購入)など、冬支度に使ったり壊れた電化製品を買ったり、少しは貯金にもまわすことができました。来年初めには色々検討した結果、オール電化にすることになりました。家計簿をつけておいたおかげで昨年度の光熱費(ガス・電気)を把握できたことは良かったです。(34歳)

子どものためなら…

去年は妊娠中でおなかが張るため大掃除できず、今年は、7ヶ月の子どもが目を離すとコンセントをなめたり、後追いをして大泣きするため、おぶってしようと思いつつ腰が痛くてできずじまい…。しかし料理はがんばった。去年までは夫と自分の実家で食べさせてもらうだけでお雑煮くらいしか作らなかったが、今年は子どもと迎える初めてのお正月ということで、写真を撮り、コパルで見たかまぼこの飾り切りやお煮しめ、リンゴきんとん、伊達巻、エビ、イクラと奮発しておせちを作り、器もきちんとして…。初クリスマスに初正月、初雛祭り…と新婚のときよりも子どものためには力が入る。ちょっと大げさかもしれないが、こうやって料理や行事を伝えていくんだなあと思った。

(35歳)

省エネしています

例年になく寒い日が続いていますね。でも我が家は殆ど暖房なしです。小さい子が1つの1つの部屋では満足せず、あちこちウロウロしているので、1ヶ所だけの暖房は非効率的だし、別に寒いとも言わないので…。夕方、ご飯を食べる時くらいからつけています。でも、鍋やホットプレートを使うと暖房なしでもあったまっていますよね。ただし、結露がいっぱいつきますが。(36歳)

やれば、できる

2005年、始めて家計簿モニターに挑戦しました。それまでも家計簿はつけてはいたものの2~3ヶ月遅れて締めていた状況だったので、期限が守れるか不安でしたが、何とか12ヶ月、期限内の提出ができました。やればできるものですね。2006年もがんばります。(37歳)

私の工夫

家計簿をつけ初めて1年が経ち、少しはつけるのが楽になりました。2006年は、食品をわかりやすく記入し、なおかつ生協でどのくらい購入したかわかるような工夫をしています。また、簡単な出来事を書いていこうと思っています。(37歳)

プライバシーの確保は対応次第

今年も1年間モニターとして提出するという目標があるから続けてつけることができました。知人に話すと、プライバシーの事とかを心配されます。そういわれると…と思うところもあるけれど、信じています。プライバシーの心配をしだすとキリがないです。電話帳に載せていなくても子どもの年齢がわかっている業者からしょっちゅうかかってくるし…結局そのときの対応をしっかりしなければと思っています。(37歳)

ありがたいボーナス

今年も何とかすべての月の集計を出すことができホッとしています。今月はボーナスがあり、う

るおっていますが、来月ボーナス払いでほとんどなくなってしまう。それでもボーナスがいただけることはありがたいですね。(39歳)

余裕のある老後のために

ケアハウスに義母が入り月々13万円くらいの支出。年金+義父の会社の厚生年金(?)が、平成23年まで入るのですが、年金だけ+家賃収入(月々6.5万)の生活になったとき、赤字は夫と私が埋めるのかと思うとゾッ。そのころはうちも子どもの教育資金がいるのですが…。余裕のある老後を通すにはそれだけの資金がいるのですね。

(40歳)

今年は無駄のない生活を

進学塾の説明会に行きました。親の給料は下がりはばなしなのに教育費は天井知らず。ため息が出ます。ただ、親としては、削ることのできない費用のために来年からはますますの出費です。これからは必要度合いを考えてから購入し、無駄のない生活を目指します。

(40歳)

『お買い得』にご用心

今月は食費が意外に少なかった。意識してはいなかったが、買い物に行く回数が少なかったかなと思う。買い物回数が増えると、予定していなかったものでも『お買い得品』になっているとつい手がのびてしまうので、結果、買い過ぎているんだなあと思う。来年はなるべく計画的に買い物するよう意識してみようと思う。

(40歳)

家計簿のおかげ③

介護保険を払うようになってから、初めてのボーナスが出たのですが、ボーナスからもすっかり差し引かれているのですねえ。介護保険だけでなく健康保険も厚生年金も改めて数字に書き出してみると、びっくりするほどの社会保険料を払っていることがよくわかりました。これも家計簿をつけたおかげです。

(40歳)

食費が増えました

年間の収支が出ました。ボーナスのおかげで何とか黒字でした(ほんの2万円程)。危機を感じて私が秋から少しアルバイトをしました。それがなかったら赤字でした。昨年に比べると食費がずいぶ

ん増えました。子どもが大きくなり良く食べるようになったのだから仕方ないですね。(40歳)

家族の思い出作り

夏休みにグアム旅行を計画しパスポートの申請をしました。年末からお正月には、US Jや温泉旅行にも行く予定です。来月の家計簿はとんでもない数字になりそうですが、みなさん!迷わず旅行に行きましょう。子どもが小学生のうちが、行き時ですよ。今しか作れない家族の思い出をいっぱい作りましょう。

(40歳)

教育費で悩んでいるママさんへ

「子どもにとって1番いいことは…?」もちろんそれは子どもに選択させるべきです!!それで子どもが勉強したい、中学受験したいというなら親もお金は惜しまないでしょう。ただしすべてお金で他人まかせでは駄目です。「小学生のうちは、親も一緒に受験勉強をする」といいます。子どもが問題を解いているそばでヒントを出すだけでいいのです。とにかく一緒にすることです。中学生以上は親の出る幕はないのですから…。学校以外の勉強に対しても自分の子にあったやり方を見つけてあげるのも親の役目ではないでしょうか。習い事も同じだと思います。私はあくまでも子に決定権を与え、1度決めたら途中でやめることを許しませんでした。1つのことをやり遂げることも評価してあげるべきでは?

(41歳)

住宅ローンを完済します

今年の2月分から主人が単身赴任生活となり、家計がどうなるのか不安になりましたが、ようやく軌道にのり生活できるようになりました。2006年は長男が小6で小学生生活もあと1年になるのでこの間に何とか貯蓄し住宅ローンを完済して教育費に当てることができればと思います。

(41歳)

遠い春

最近、「景気回復」とか「株・投資」という言葉をよく耳にします。今年の冬のボーナスが前回よりダウンした我が家にいたっては、この冬、各地の豪雪と同じく遠い春を感じています。

(42歳)

年間収支から見えてきたこと

今年初めて家計簿モニターをしました。今まで、使った金額だけしか記入していなかったのに、何にどのくらい使っているのかわかりませんでした。集計のため、年間収支表を初めてつけました。私のことだからなかなか改善できないとは思いますが、安いからとついついいろんなものを買ってしまおうくせを直して、特に嗜好品売り場には行かないようにしていきたいと思います。

(45歳)

使途不明金ゼロを目指します

家計簿をつけ初めて17年。最近、手抜きが多くなり、何日分もまとめてつけることも。これではいけないと反省しつつもなかなか元にはもどりません。毎月提出できているだけでも「まっ、いいか」と開き直っているこの頃です。来年こそはがんばって使途不明金ゼロを目指します。

(45歳)

内面みがきの51歳を目指して

今年も毎月提出できて、何よりです。反省として、食費をもう少しスリムに、病院代も来年は0の月をめざして、被服費はキリがないので買い控えなくては…。来年は外見ではなく内面みがきの51歳でありたいと思います。

(50歳)

家計簿記帳で気づいたこと

家計簿をつけ始めて1年経ちました。どの項目に入れるのが、やっと落ち着いたように思います。3月で退職し、無職となり、収入減の生活を考えざるを得なかったのです。支出を減らすことはみじめという感がありましたが、『賢く暮らす』と考え始めました。物を大切に使う事、いらぬものは買わない事など地球にも優しいことです。

(50歳)

バランスが大事

夫の早期退職で収入が変わり、生活を見直すために1年間家計簿をつけた。なかなか支出を減らすのは難しいと感じた。反省はしても次に活かさなかった。けれど収入と支出のバランスを常に頭のどこかで意識しておこうと努力はした。これからも身体も家計も引き締めてやっていきたい。

(51歳)

何とかならない?年齢制限

年末年始のバイトを増やした。正月はのんびり…という夢は遠く離れていったが、みんながのんびりしている正月に働けるということに感謝している。とにかく、健康であればいつでも働けるときに働こうと考えてはいるが、ネックになるのが年齢制限。この年齢制限は何とかならないものだろうか。年を取っても健康と体力と働く意欲のある人はたくさんいると思う。

(50歳)

来年もがんばります

この1年が健康で充実した日々であったことに感謝です。家計簿においても今までつけ続け、振り返り、楽しむ家計簿であったと思います。来年も役立たぬ年金者の家計簿ではありますが、生活を自分なりに見ながらつけて提出したいと思います。

(66歳)

眼の手術をします

元旦早々、家計簿集計をお願いして提出することができました。14年間続けたモニターも眼をわづらってはとすることもできず、今月(12月分)の総まとめで区切りをつけることにしました。淋しい気持ちです。1月上旬に上京して手術をします。無事成功したら、また参加したいと思います。

(70歳)

医者代、うなぎのぼり

80歳まで病気知らず。現在、医者代、うなぎのぼり。主人、入院中。室代・おしめ代、上昇中。入院中の食事代は外食に入れました。いかがでしょうか?集計してみて、意外の支出…何をしたらよいか迷う中、気を引き締めて、来年も記録しようと思心に強く誓いました。

書いて 初めて判る 収支かな (82歳)

頑張って

12月の初めに娘と孫が近くのマンションに引っ越して行きました。母子家庭の娘たちのために私たち夫婦も出来得る事はしたつもりですが、それがよかったかどうかわかりません。「二人で頑張ってみる」との娘の言葉に驚きました。帰ってきて3年余り。それなりに気持ちの整理がついたものと喜ぶべきだろうと送り出しました。そんな訳で、静かな淋しい日々を過ごしています。

(?歳)

マイホーム

年末にマイホームに転居した。ブゥーンとうなっていた冷蔵庫ともお別れし、何点か電化製品も購入した。さらに、アンテナ工事、電話、照明、カーテン、カーポートなどなど、余分なお金がプラス。なんだか〇万円という単位が高いのか安いかわからない感覚になった。やっと落ち着いてきて新年を迎え、この家での生活も慣れてきた。

新しい土地で…

(?歳)

先月は引越してばたばたして締め切りに間に合いませんでした。今月は最後なので終わりよければ…で提出します。生協のお店が近いので以前より利用度が高く、ほぼ100%生協の食品になっています。

広島のコープフェイスの商品が懐かしいですが、同じものもあるので助かります。

(?歳)

Q&A

Q：社会保険料は2段に書いてしまいましたが生協で書いたほうが良かったのかな？ (39歳)

⇒はい。合算して計上してください。

Q：「消費支出の食費」と「今月の食費」の金額に差があるのは？ (49歳)

⇒8ページ「消費支出の食費」は登録モニター全員の食費の平均額です。6ページ「今月の食費(実平均)」は集計表の食費内訳欄に内訳を記入している人の平均です。214号ではモニター総数221人に対して食品内訳記入者は135人でした。

'05年12月分 家計簿集計表

〈世帯主の職種〉

広島県生活協同組合連合会

	全体	20歳代	30歳前半	30歳後半	40歳前半	40歳後半	50歳代	60歳以上
公務員	33	0	2	6	9	8	8	0
会社員	157	6	9	32	45	30	33	2
その他	17	0	1	2	4	3	5	2
無職	15	0	0	0	1	0	1	13
合計	222	6	12	40	59	41	47	17

	全体	20歳代	30歳前半	30歳後半	40歳前半	40歳後半	50歳代	60歳以上
調査世帯数	222	6	12	40	59	41	47	17
世帯主平均年齢	45.8	28.2	33.2	37.1	42.0	47.2	53.5	69.4
平均家族数	3.9	3.2	4.1	4.2	4.1	4.2	3.5	2.6

〈今月の食費(実平均)〉

	全体	20歳代	30歳前半	30歳後半	40歳前半	40歳後半	50歳代	60歳以上
〈食費〉	70,394	45,477	68,390	53,354	65,601	69,256	75,939	91,801
1. 主食	9,231	2,297	8,611	6,052	8,636	10,094	8,255	15,383
2. 副食・調味料(計)	36,313	22,415	26,692	25,177	31,888	35,976	39,990	54,419
3. 嗜好品(計)	12,492	5,282	12,428	7,842	11,409	12,691	15,108	13,883
4. 外食関係(計)	12,358	15,483	20,659	14,283	13,668	10,495	12,586	8,116
平均家族数	2.9	4.0	4.3	4.2	3.9	4.1	3.5	2.7
食費内訳記入者	122	1	4	15	28	29	32	13
総数	222	6	12	40	59	41	47	17

〈収 入〉

			全 体	20歳代	30歳代 前 半	30歳代 後 半	40歳代 前 半	40歳代 後 半	50歳代	60歳以上	
収 入 合 計	本 前 対	年 年 比	1,155,706 1,164,511 99.2%	760,294 752,873 101.0%	793,392 708,293 112.0%	1,030,864 967,163 106.6%	1,265,293 1,176,140 107.6%	1,287,362 1,389,517 92.6%	1,270,642 1,528,895 83.1%	829,149 918,928 90.2%	
給 料	夫	本 前 対	年 年 比	368,625 375,610 98.1%	256,125 256,360 99.9%	354,550 333,572 106.3%	349,974 359,566 97.3%	401,794 418,340 96.0%	416,127 420,253 99.0%	429,800 452,633 95.0%	63,344 80,356 78.8%
	妻	本 前 対	年 年 比	67,921 49,294 137.8%	105,333 119,790 87.9%	0 16,944 0.0%	55,087 55,979 98.4%	109,125 34,737 314.1%	36,791 39,097 94.1%	86,674 102,867 84.3%	13,088 12,361 105.9%
賞 与	夫	本 前 対	年 年 比	539,441 567,775 95.0%	236,035 292,613 80.7%	354,021 325,807 108.7%	※1 508,114 430,218 118.1%	※2 609,986 627,226 97.3%	※4 698,315 802,869 87.0%	※6 571,675 757,169 75.5%	※8 134,009 105,802 126.7%
	妻	本 前 対	年 年 比	73,672 63,420 116.2%	160,052 83,700	0 0	74,660 70,065 106.6%	97,182 51,951 187.1%	54,100 55,072 98.2%	92,693 132,503 70.0%	5,882 22,222 26.5%
年 金	夫	本 前 対	年 年 比	34,070 30,136 113.1%	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	15,233 7,189 211.9%	※9 402,807 355,229 113.4%
	妻	本 前 対	年 年 比	10,544 10,279 102.6%	0 0	0 0	0 0	6,272 0	0 0	779 2,051 38.0%	113,767 121,984 93.3%
自 家 営 業	夫	本 前 対	年 年 比	6,394 2,958 216.2%	0 0	74,109 0	6,250 0	0 0	2,687 0	3,617 20,272 17.8%	0 0
	妻	本 前 対	年 年 比	505 0	0 0	0 0	0 0	542 0	0 0	1,702 0	0 0
家賃地代収入	本 前 対	年 年 比	830 991 83.7%	0 0	0 0	0 0	0 413 0.0%	0 0	2,979 4,054 73.5%	2,600 2,389 108.8%	
パート・アルバイト 収 入	夫	本 前 対	年 年 比	1,710 1,449 118.0%	0 0	0 1,422 0.0%	0 0	1,343 286 470.1%	0 1,316 0.0%	6,391 5,992 106.7%	0 278 0.0%
	妻	本 前 対	年 年 比	23,265 21,994 105.8%	2,000 0	2,941 8,337 35.3%	20,559 23,547 87.3%	18,957 23,661 80.1%	37,038 27,227 136.0%	32,850 29,578 111.1%	6,723 4,362 154.1%
同居の家族よりの収入	本 前 対	年 年 比	2,920 3,840 76.0%	0 0	0 4,444 0.0%	2,000 1,047 191.1%	1,949 1,724 113.1%	2,927 2,632 111.2%	5,117 9,297 55.0%	5,458 9,500 57.4%	
そ の 他 収 入	本 前 対	年 年 比	25,809 36,998 69.8%	750 410 182.9%	7,772 5,433 143.0%	14,220 26,741 53.2%	※3 18,142 17,802 101.9%	※5 39,377 41,052 95.9%	※7 21,132 15,291 138.2%	※10 81,472 204,445 39.9%	

※1/ボーナス(115万) ※2/ボーナス(120万,391万) ※3/借家立ち退き残金(25万) ※4/ボーナス(134万,148万,157万,181万,379万)
 ※5/学資保険満期(130万) ※6/ボーナス(127万,130万,132万,158万) ※7/夫、障害年金(53万) ※8/ボーナス(172万) ※9/年金(126万)
 ※10/株式配当(20万,31.7万)

〈非消費支出〉

			全 体	20歳代	30歳代 前 半	30歳代 後 半	40歳代 前 半	40歳代 後 半	50歳代	60歳以上
非消費支出合計	本 前 対	年 年 比	254,631 250,776 101.5%	172,194 131,208 131.2%	180,396 133,722 134.9%	219,088 191,193 114.6%	270,349 254,586 106.2%	257,418 285,925 90.0%	314,735 374,832 84.0%	192,309 194,196 99.0%
1. 税 金	本 前 対	年 年 比	65,959 64,680 102.0%	34,172 23,628 144.6%	25,901 6,877 376.6%	44,696 40,245 111.1%	77,926 76,277 102.2%	72,444 84,095 86.1%	88,430 100,544 88.0%	36,182 34,681 104.3%
2. 社会 保 障 費	本 前 対	年 年 比	181,660 178,706 101.7%	126,294 100,630 125.5%	151,806 104,380 145.4%	162,459 149,046 109.0%	190,579 177,436 107.4%	183,815 198,361 92.7%	220,681 260,985 84.6%	123,427 135,054 91.4%
社会 保 険	本 前 対	年 年 比	119,065 115,477 103.1%	81,676 87,613 93.2%	80,986 76,355 106.1%	110,035 98,924 111.2%	131,149 124,128 105.7%	132,296 134,184 98.6%	142,830 158,060 90.4%	40,839 43,040 94.9%
	私 的 保 険	本 前 対	年 年 比	62,595 63,228 99.0%	※1 44,619 13,017 342.8%	※2 70,819 28,025 252.7%	※3 52,423 50,122 104.6%	59,430 53,308 111.5%	※6 51,520 64,177 80.3%	※7 77,851 102,925 75.6%
3. その他非消費支出	本 前 対	年 年 比	7,011 7,390 94.9%	11,728 6,950 168.8%	2,690 22,465 12.0%	※4 11,933 1,902 627.3%	※5 1,845 873 211.4%	1,159 3,469 33.4%	5,624 13,303 42.3%	※9 32,700 24,461 133.7%

※アミカケ部分は小計です。 ※1/個人年金(20万) ※2/損害保険(61.7万) ※3/学資保険2人分(20万) ※4/?(39万) ※5/?(21万)
 ※6/生保年払い(22万) ※7/生保年払い(21.7万,38万) ※8/生保年払い(78万) ※9/?(51.5万)

〈消費支出〉

		全体	20歳代	30歳代 前半	30歳代 後半	40歳代 前半	40歳代 後半	50歳代	60歳以上
消費支出計	本前対 年 年 比 80.9%	426,577 527,284	309,628 330,145	609,942 552,248	398,592 376,546	402,202 575,543	469,321 605,116	432,303 586,138	369,941 452,032
食費	本前対 年 年 比 100.6%	68,301 67,888	44,071 36,901	58,923 50,610	62,253 57,523	64,981 65,634	75,264 76,068	71,171 84,809	84,498 72,652
住居費	本前対 年 年 比 66.3%	97,446 147,045	71,813 65,198	339,755 302,496	78,306 86,462	96,740 203,239	125,832 124,057	51,882 94,378	40,449 114,623
家賃・地代	本前対 年 年 比 62.8%	72,898 116,100	※1 68,605 62,300	※2 227,440 284,463	※5 65,829 77,557	※7 76,760 184,145	※9 108,039 ※10 98,240	25,609 37,093	※19 14,541 13,722
住居費その他	本前対 年 年 比 79.3%	24,548 30,945	3,207 2,898	※3 112,315 ※4 18,033	12,477 8,904	19,981 19,094	※11 17,793 25,817	※15 26,273 57,285	25,908 100,901
水道・光熱費	本前対 年 年 比 108.1%	19,346 17,897	15,533 13,203	15,225 17,601	18,990 14,553	18,310 16,308	19,779 19,773	21,137 22,025	22,032 20,339
被服費	本前対 年 年 比 114.1%	21,654 18,971	17,763 23,362	17,035 13,219	24,914 17,313	18,463 17,490	22,769 24,496	22,339 21,196	25,112 16,652
保健医療費	本前対 年 年 比 100.4%	11,007 10,961	2,997 3,780	11,927 7,728	8,123 11,999	12,254 7,574	10,995 8,214	8,982 10,877	21,268 31,134
理容衛生費	本前対 年 年 比 109.4%	11,015 10,070	13,724 7,786	12,039 9,142	9,370 8,241	※8 9,880 9,742	8,424 9,930	15,200 13,100	11,820 11,091
交際費	本前対 年 年 比 96.1%	27,446 28,566	12,489 23,191	9,475 13,545	14,411 16,081	17,883 15,978	18,264 37,227	※16 49,649 ※17 36,383	※20 70,029 84,320
交通通信費	本前対 年 年 比 90.7%	21,306 23,499	23,925 23,623	17,676 19,828	19,375 23,905	22,003 21,438	20,605 23,961	25,176 27,532	16,064 24,121
交 通	本前対 年 年 比 75.5%	6,158 8,161	13,082 8,090	3,251 5,166	4,145 7,516	7,141 6,569	5,054 8,498	7,550 10,243	5,905 13,296
通 信	本前対 年 年 比 98.8%	15,148 15,338	10,843 15,533	14,425 14,662	15,230 16,389	14,862 14,868	15,551 15,463	17,626 17,289	10,159 10,825
教育費	本前対 年 年 比 72.7%	42,280 58,143	15,579 10,734	29,590 28,266	40,563 43,191	42,200 64,934	※12 57,398 84,448	※18 52,478 84,053	329 1,717
教養娯楽費	本前対 年 年 比 93.9%	25,178 26,816	13,468 19,612	24,203 19,120	※8 36,585 21,660	24,977 21,168	16,270 21,936	24,489 49,359	27,243 32,162
職業・主婦費	本前対 年 年 比 91.5%	45,560 49,784	14,176 30,404	38,207 30,384	47,066 42,092	41,654 41,063	43,157 63,511	60,549 80,333	36,197 30,615
自動車関係費	本前対 年 年 比 49.1%	31,077 63,289	61,879 71,928	33,009 28,692	36,601 29,150	27,000 88,291	※13 41,967 105,202	25,789 58,783	8,344 10,795
その他	本前対 年 年 比 122.2%	4,961 4,061	2,211 349	2,877 11,215	2,035 4,024	5,856 2,493	※14 8,596 5,899	3,461 3,051	6,556 1,502

※1/住宅ローン(19万) ※2/住宅購入一時金(200万) ※3/家電製品(76万) ※4/カーポート(20万) ※5/住宅ローン(21.8万,31万)
 ※6/旅行(20.7万) ※7/住宅ローン(32万,24.5万,38.9万,42.8万,35万) ※8/歯矯正(21万) ※9/住宅取得手付(68万)
 ※10/住宅ローン(42万,47万,44.5万) ※11/?(30万) ※12/自動車学校(30.3万) ※13/車(50万) ※14/仕送り(24万)
 ※15/プラズマTV他(55.3万) ※16/結婚費用援助(47万) ※17/お寺寄付(25万) ※18/自動車学校(32.2万) ※19/住宅ローン(20万)
 ※20/?(32万)